

藤間町政スタート

民間と同じ目線で行政を運営

5月18日に投票が行われた町長選挙で、藤間隆氏が当選を果たしました。川島町の今後の町政を担う藤間町長に、まちづくりへの姿勢について、お話を伺いました。

―まちづくりの基本姿勢について聞かせてください。

川島町に関わるすべての人が、夢を実現でき、「ここが好き やっぱ好き」と思える町にすることが、私のまちづくりの基本姿勢です。

現在、物凄いスピードで社会情勢は変化し、気候変動問題をはじめ、物価高騰、少子高齢化などの課題が発生しています。社会の変化に取り残されないよう、スピード感をもって生き残りをかけ対応していかなくてはなりません。

このため、「これからは株式会社「川島町」として、民間と同じ目線で物事を考え、経営という観点で行政を

運営していかなくてはならないと考えています。

町が直面する各種問題・課題を先送りせず、未来を見据え、町民の皆様とともに、まちづくりを進めていきます。

―「ここが好き やっぱ好き」と思える町を実現するために、藤間町長は3つの戦略を柱に政策を掲げています。どのように取り組みたいとお考えですか。

まず、「未来に続く安全・安心なまちづくり」について聞かせてください。

住み慣れた町で皆様が穏やかに暮らしていけるよう、高齢者福祉の充実、障がい者福祉の充実はもとより、障がい者雇用も進めたいと考えています。

また、将来にわたり持続可能な町

―次に、「子どもたちを健やかに育てられるまちづくり」について聞かせてください。

子育て世代の方々からは、切れ目のない支援が求められています。安心して子どもを預けられる保育園・学童保育の充実、教育環境の整備・充実など、これからの社会に対応できる子どもたちの育成に取り組んでいきます。特に、基礎学力の向上とグローバル社会に対応した英語教育を充実させ、「教育で選ばれるまち」にしていきたいと考えています。

また、出産祝い金の支給や、地場産品を活用した「おいしい給食」の提供と給食費の段階的な無料化など、子育て世帯の経済的な負担軽減を図り、町を挙げて子育て応援体制を実現していきます。

―次に、「地域資源を活かしたまちづくり」について聞かせてください。

安定した財源確保と雇用の創出を図るために、圏央道川島インターチェンジを有する立地優位性を活かして、産業団地を整備していきます。

農業の分野では、新たな担い手となる新規就農者と農業法人の設立を

―最後に、町民の皆様へメッセージをお願いします。

未来を見据えた大きな成長のためには、種をまき、水をやり、芽を育まなくてはなりません。確実に一歩ずつ進めることもとても大事です。しかし、時には大きな冒険も必要です。柔軟な発想と行動力を活かしながら失敗をおそれず、職員と共に奮闘してまいります。

町民の皆様のご理解とご支援を、心からお願い申し上げます。

川島町長選挙・川島町議会議員補欠選挙選挙結果

5月18日に行われた川島町長選挙、川島町議会議員補欠選挙の結果をお知らせします。

川島町長選挙

開票結果 (届出順)		
結果	候補者氏名	得票数
	さいど 証	1,725票
	粕谷 かつみ	1,889票
当選	ふじま 隆	4,868票

投票結果

項目	男	女	計
当日有権者数 (人)	8,183	7,890	16,073
投票者数 (人)	4,252	4,314	8,566
投票率 (%)	51.96	54.68	53.29



▲ 5月19日に初登庁する藤間町長。役場入口に集まった支援者や職員に挨拶。

川島町議会議員補欠選挙

開票結果 (届出順)		
結果	候補者氏名	得票数
当選	松原 けんじ	3,999票
	小西 かな	3,877票

投票結果

項目	男	女	計
当日有権者数 (人)	8,183	7,890	16,073
投票者数 (人)	4,247	4,309	8,556
投票率 (%)	51.90	54.61	53.23

であり続けるために、新たなごみ処理施設の整備を進めていきます。また、鉄道網のない町の課題である地域公共交通の充実、コミュニティ活動や地域防犯活動などを通じて、住みよい暮らしの充実を図ります。

さらに、災害時に安定的な水を供給するための水道管の耐震化など、生活インフラの環境整備を実施していきます。また、身近な生活道路も整備していきます。

藤間 隆 (ふじま たかし) プロフィール

- 昭和40年(1965年)生まれ
川島町三保谷宿在住
- 東海大学工学部 建築学科卒
- 昭和63年(1988年)川島町役場入庁
生涯学習課長(1年)
健康福祉課長(2年)
政策推進課長(7年)
- 趣味:日曜大工、家庭菜園、モータースポーツ